

OSS License Checked! Orchestrating a brighter world NEC

オープンソースの「育」を拡大
オープンソースカンファレンス
2018 Tokyo/Spring

1899年(明治32年)
～著作権法で繋がるNEC創立とOSSライセンス

2018年2月23日
NEC OSS推進センター・姉崎亜博

NEC、日本電気(株)は1899年7月17日に創立されました

■ NEC創設者・岩垂邦彦 (いわだれくにひこ)

- 1857年福岡県に生まれ、
- 工部大学校電科 (現・東工大学の前身の一つ) を卒業。
- 工部省に勤めた後、渡米し、エジソン・マシンのワークス (現・GE社の前身の一つ) に入社。(1880年)
- エジソンと共に働いた、数少ない日本人として知られています。
- 帰国後、大阪電燈 (現・関西電力の前身の一つ) 初代技師長を経て、
- 1899年、42歳でウェスタン・エレクトリック社との**合弁会社**「日本電気株式会社」を創業。
- **日本初の外資系企業**の代表者として、事業発展を牽引しました。

出典：NECの歩み <http://jpn.nec.com/profile/corp/history.html>

とこそ、Stallman氏は、GPLを、契約法に基づかせない理由を2つ挙げた

Don't Let 'Intellectual Property' Twist Your Ethos
<http://www.gnu.org/philosophy/no-ip-ethos.html>

1. Copyright law is **much more uniform** among countries than contract law, which is the other possible choice.
著作権法は、国家間で、契約法や他のありうる選択より、**非常に均質である。** **ベルヌ条約**

2. There's another reason not to use contract law: It would require every distributor to get a user's formal assent to the contract before providing a copy. To hand someone a CD without getting his signature first would be forbidden. **What a pain in the neck!**
契約法を使わないもう一つの理由は、コピーを提供する前に、契約への正式な同意を得ることを、あらゆる頒布者に要求するから。彼のサインをもらうことなく誰かにCDを渡すことは、禁じられている。**うんざりする!**

日本が、ベルヌ条約に加盟したのは、1899年(明治32年)

3月4日に旧著作権法を制定し
4月18日に加盟

主な特徴

内国民待遇	外国人の著作物を保護する場合に、自国の国民に与えている保護と同様の保護を与えること。
無方式主義	著作物は著作物を作った時点で自動的に発生し保護されるとする原則。我が国をはじめほとんどの国が採用。
遡及効果(さきよりこうこ)	条約発効前に創作された著作物でも、保護期間内のものであれば、条約が適用されること。
最低保護期間	死後50年

出典：<http://www.cric.or.jp/qa/hajime/hajime5.html>

なぜ、NEC創立とベルヌ条約加盟が同じ年なのか？

■ それは、7月17日が、日英/日米通商航海条約(種奥条約)施行の日だから

■ **日英通商航海条約**・・・？

- 1854年 日米和親条約 - ベリーの黒船来航(1953,1954)
- 1858年 日米修好通商条約 - 井伊大老、不平等条約(?)
- なら知っているが・・・
- その不平等と言われた**領事裁判権を廃止した条約**
- 1894年7月16日、最初に、日英通商航海条約で調印
- 御署名原本・明治二十七年・条約八月二十七日・帝国ト大不列顛トノ通商航海条約
http://www.jacar.go.jp/DAS/meta/listPhoto?IS_STYLE=default&REFCODE=A03020190100&TYPE=jpg

日英通商航海条約(1/3)-明治27年(1894年)7月16日 調印

日英通商航海条約(2/3)-条約の他に(実施までの)「約定」

日英通商航海条約(3/3)-領事裁判権の廃止に先だち工業の所有権及版権の保護に関する列国同盟条約に加入すべきことを約す

日清戦争と日露戦争「坂の上の雲」の時代の出来事

■ 日英/日米通商航海条約 施行の日 にNEC創立

■ その調印時の約定の一つがベルヌ条約などへの加盟

つまり、特許とともに

著作権の尊重が、NEC創立の条件だった

という繋がり。

加えて、岩垂邦彦が大坂電燈を辞した理由は、下記によれば

エジソンを啜らせた男 NEC創始者 岩垂 邦彦
～アメリカと日本を電気で結んだ男の軌跡 [28:04]
http://jpn.nec.com/ad/onlinetv/introduction/iwadare_h.html

- 折から日清戦争に勝利し、日本の産業が一気に開花した19世紀末。電気の需要は益々増加していきます。そんな中、大坂電燈では、発電機などの自社生産の動きが起きます。
- 岩垂は、ゼネラル・エレクトリック社 (GE) との契約から、特許などの諸問題の了解が必要と提言します。しかし、当時の日本には、**条約未施行**の特許など知的財産に対する考えはなかつたため受け入れられません。
- 岩垂はゼネラル・エレクトリック社 (GE) との**信義を欠く**として大坂電燈を退社します。

条約未施行なのだからルール違反ではないが、権利者を尊重

形式的な「ルール」より「権利」を尊重

結構、大事な事ではないかと思う。